

北陸工業新聞社 日刊建設工業新聞（2022年4月4日付 14面掲載）  
【中央設計技術研究所 笠松社長が入社式で訓示 新たな価値を創造する社員に】

## 新たな価値を創造する社員に

### 笠松社長が入社式で訓示

中央設計技術研究所

中央設計技術研究所  
(金沢市、笠松英昭社長)

の2022年度入社式が1日、新入社員5人を迎え、同本社で行われた。例年役員一同が集まって入社式を行っているが、昨年にかけて新型コロナウイルス感染予防のため、役員は社長のみ出席した。

式では、笠松社長が新入社員一人ひとりに辞令を交付し、「当社は創業



以来75年間、水道、下水道、廃棄物を中心に社会資本整備に携わってきた。今日、上下水道事業を取り巻く環境には様々な課題があり、私たちがやるべき仕事が多々ある。企業の原点は『人』であり、『人』が原動力となって会社が成長する。その上で、刻々と変化する外部環境に対応すべく、新たな価値を創造する社員を目指して着実に成長してほしいと訓示。引き続き、先輩社員を代表して石亮一施設事業部長が歓迎の言葉、新入社員を代表して昆野凌磨（りょうま）さんが「常に学ぶ意欲と向上心を持ち、一日も早く力になれるよう尽力したい」と決意の言葉を述べた。その後、笠松社長を囲んで記念撮影した。写真。